

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月17日

当社製品による切削工具の加工シーン

会社名	株式会社 和井田製作所	証券コード	6158
本社	岐阜県高山市片野町2121番地	事業内容	特殊研削盤の製造・販売
代表者	代表取締役社長 森下 博	資本金	8億4,330万円
設立	1946年10月(現在第95期目)	従業員数	186名(連結)

決算ハイライト（連結）

（単位：百万円）

	23/3期 上半期 実績	24/3期 上半期 期初計画※1	24/3期 上半期 実績	前年同期比	計画比
売上高	3,519	3,734	3,742	106.3%	100.2%
売上原価	2,163	2,310	2,272	105.0%	98.4%
売上総利益	1,356	1,424	1,470	108.4%	103.2%
〔売上総利益率〕	38.5%	38.1%	39.3%	+0.7ポイント	+1.1ポイント
販売管理費	861	867	940	109.2%	108.5%
営業利益	494	557	529	106.9%	95.0%
〔営業利益率〕	14.1%	14.9%	14.1%	+0.1ポイント	▲0.8ポイント
経常利益	568	561	607	106.9%	108.3%
〔経常利益率〕	16.1%	15.0%	16.2%	+0.1ポイント	+1.2ポイント
四半期純利益※2	405	393	382	94.1%	97.2%
〔四半期純利益率〕	11.5%	10.5%	10.2%	▲1.3ポイント	▲0.3ポイント

※1 2023/5/11 開示

※2 「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「四半期純利益」として表示しております

貸借対照表（連結）

<資産の部>

(単位：百万円)

	23/3期 期末 (23/3/31) 実績	24/3期 上半期末 (23/9/30) 実績	増減
現金・預金	3,974	4,554	580
売上債権	2,091	1,614	▲476
たな卸資産	2,267	2,261	▲6
その他流動資産	187	132	▲55
流動資産合計	8,521	8,563	41
有形固定資産	2,653	2,544	▲109
その他固定資産	523	662	139
固定資産合計	3,177	3,207	29
資産合計	11,698	11,770	71

<負債・純資産の部>

(単位：百万円)

	23/3期 期末 (23/3/31) 実績	24/3期 上半期末 (23/9/30) 実績	増減
仕入債務	551	411	▲140
有利子負債(短期)	253	266	13
その他流動負債	689	649	▲40
流動負債合計	1,494	1,327	▲167
有利子負債(長期)	396	259	▲136
その他固定負債	295	316	21
固定負債合計	691	576	▲115
負債合計	2,186	1,903	▲282
純資産合計	9,512	9,866	354
負債・純資産合計	11,698	11,770	71

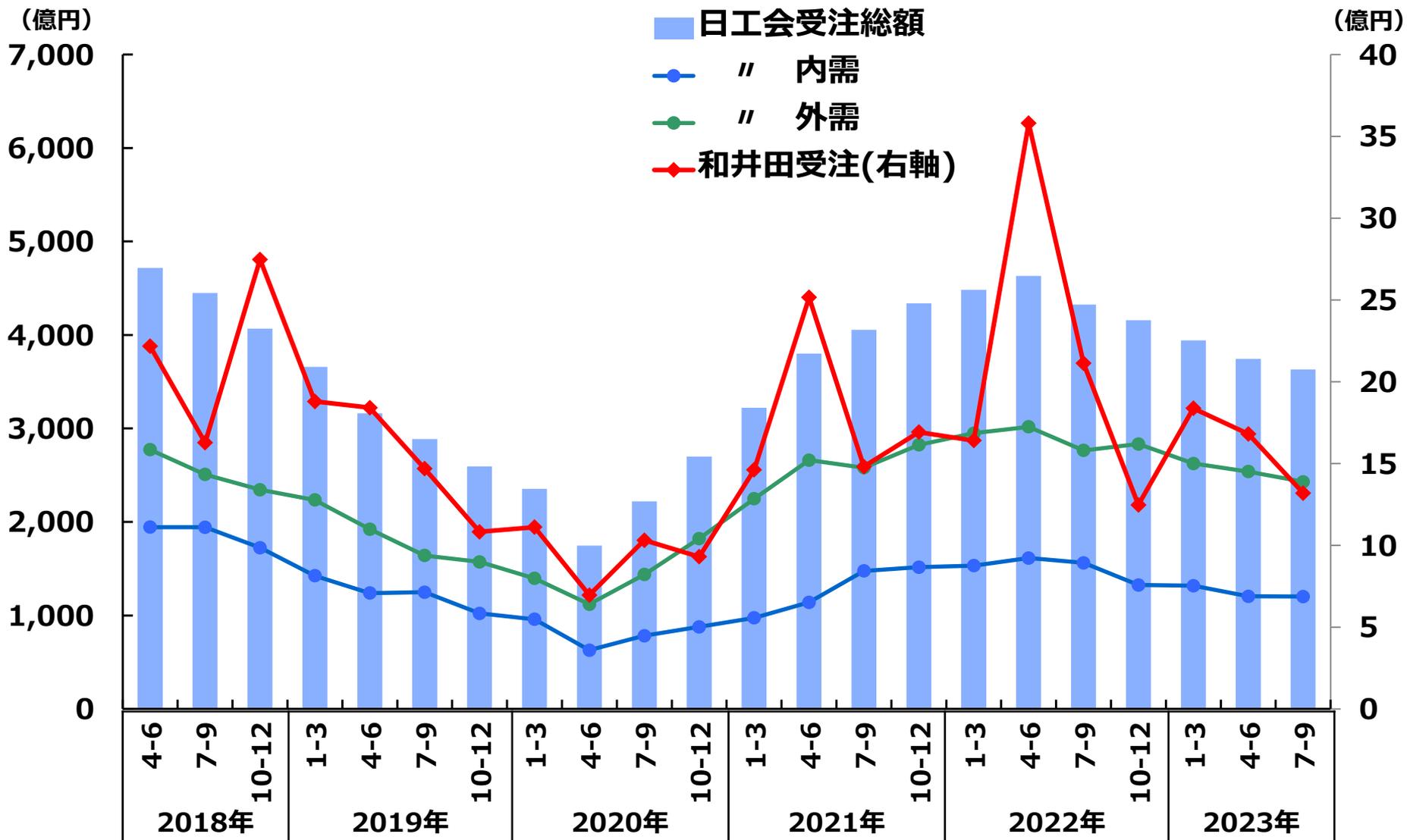
キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	23/3期 上半期 (22/4/1~9/30) 実績	24/3期 上半期 (23/4/1~9/30) 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲27	898
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲567	▲104
フリー・キャッシュ・フロー（※）	▲595	794
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲717	▲252
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	39
現金及び現金同等物の増減額	▲1,235	580
現金及び現金同等物期首残高	5,603	3,634
現金及び現金同等物期末残高	4,367	4,214

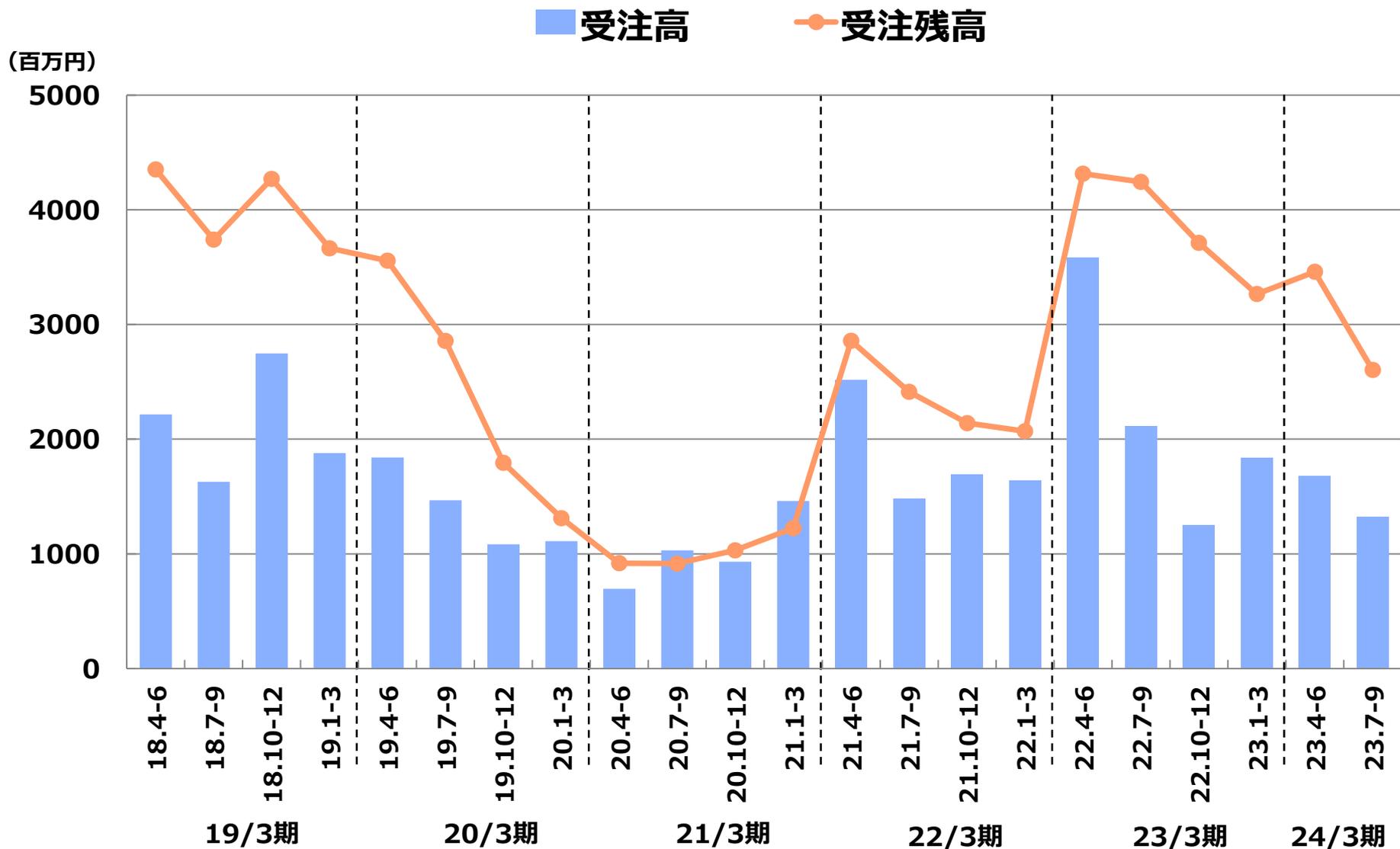
※ フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

日工会／当社 受注の推移



(出所 | 日本工作機械工業会)

当社 受注高・受注残高 (連結) の推移



2024年3月期の通期見通しについて

【上半期の状況】

- ・欧米市場は、ハイエンド インサート研削盤 "APX-F50" を中心に活発に商談が展開し、売上が増加しました。
- ・アジア市場（中国を除く）は、サプライチェーン再編の動きを受け、比較的好調に推移しました。
- ・中国市場では不動産問題や消費減速等の影響により受注は伸び悩み、国内市場も勢いを欠く展開となりました。

【下半期の見通し】

- ・欧米市場は引き続き好調に推移しており、営業サポートを強化し受注の上積みを図ります。
- ・中国市場、国内市場の市況は、上半期に引き続き調整局面が続く見通しです。ただし、一部で引合増の動きが見られるため、商機を逃さないよう短納期対応等を進め受注確保に努めます。



市況感としては総じて足取りの重い展開が予想されますが、受注は底堅く推移しており、上半期末の受注残も一定量確保できていることから、売上高は概ね期初計画の範囲内の着地を見込んでおります。

利益については、研究開発費、欧米向け販売経費、設備更新にともなう減価償却費等の負担は増えていますが、期初計画の範囲内で推移するものと見込んでおります。

以上の見通しのもと、期初に開示した通期業績見通しに変更はございません。

業績見通し（連結）

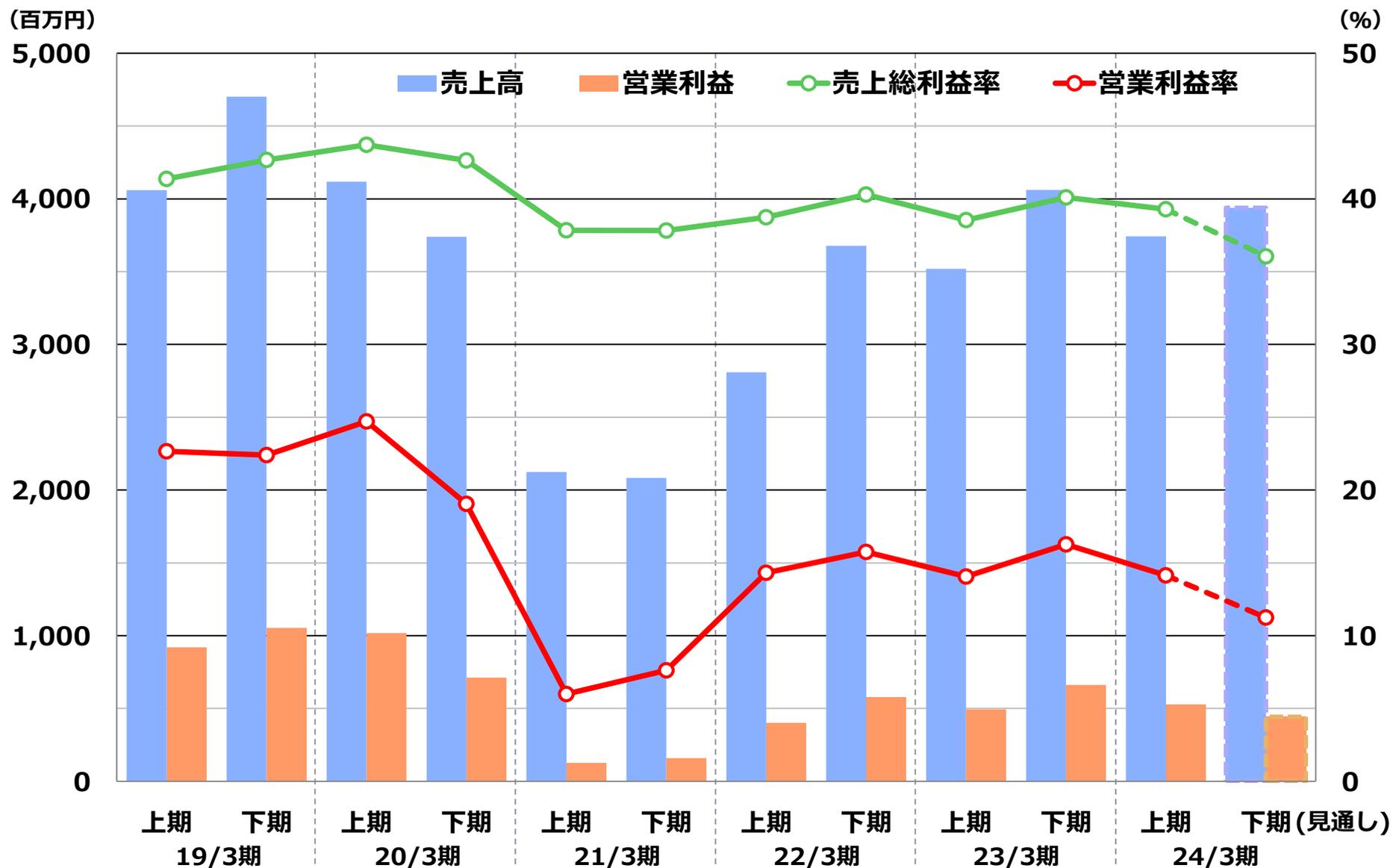
（単位：百万円）

	23/3期 通期 実績	24/3期 通期 見通し※1	前年同期比
売上高	7,581	7,681	101.3%
売上原価	4,596	4,791	104.2%
売上総利益	2,985	2,889	96.8%
〔売上総利益率〕	39.4%	37.6%	▲1.8ポイント
販売管理費	1,829	1,917	104.9%
営業利益	1,155	972	84.1%
〔営業利益率〕	15.2%	12.7%	▲2.6ポイント
経常利益	1,210	979	80.9%
〔経常利益率〕	16.0%	12.8%	▲3.2ポイント
当期純利益※2	868	686	79.1%
〔当期純利益率〕	11.5%	8.9%	▲2.5ポイント
配当金（1株当たり）	年間 37円	年間 40円(予定) ※3	年間 +3円(予定)

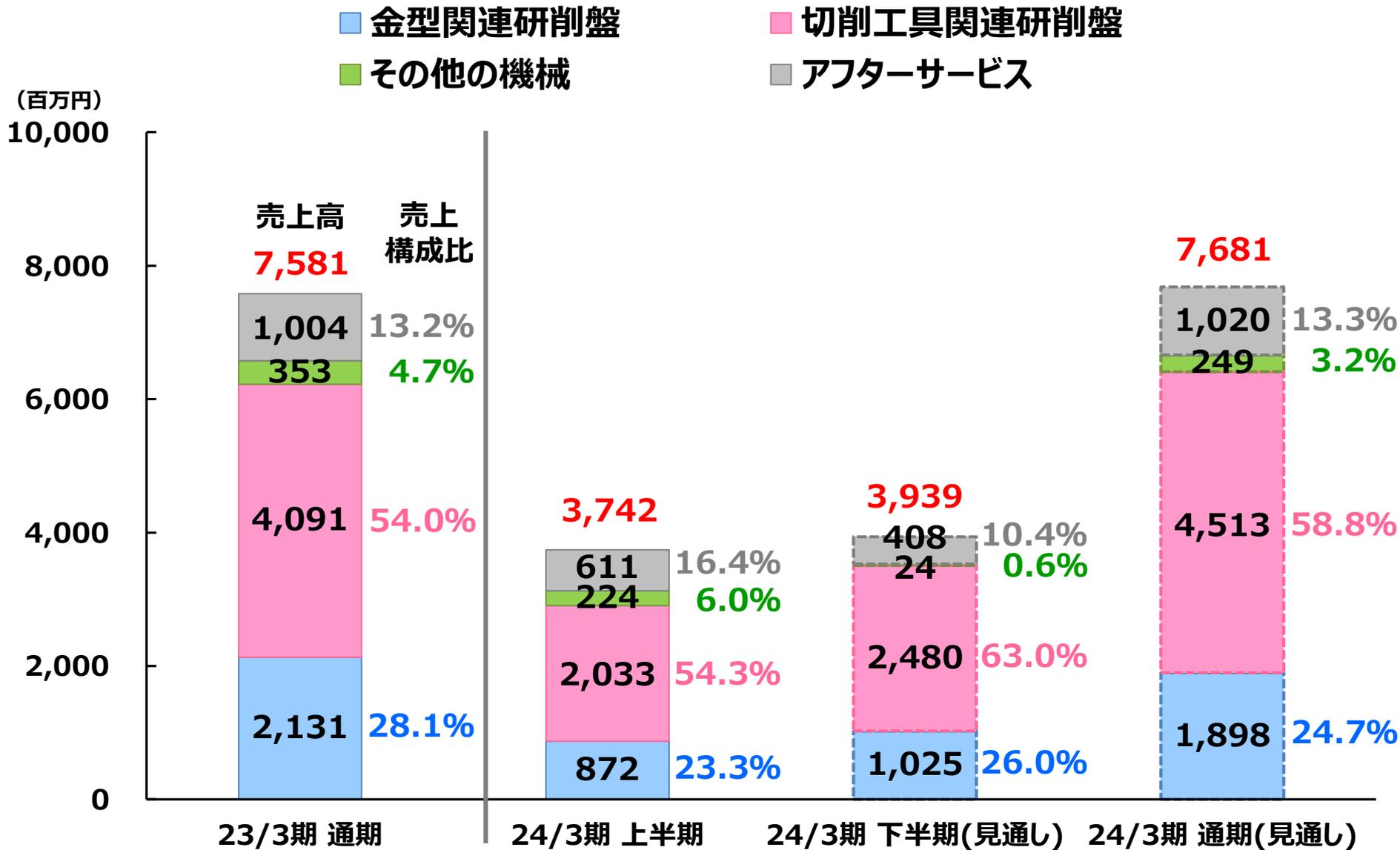
※1 2023/5/11 開示 ※2 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として表示しております

※3 中間配当の1株当たり20円と期末配当の1株当たり20円（予定）を合わせ、年間では1株当たり40円を予定しております。

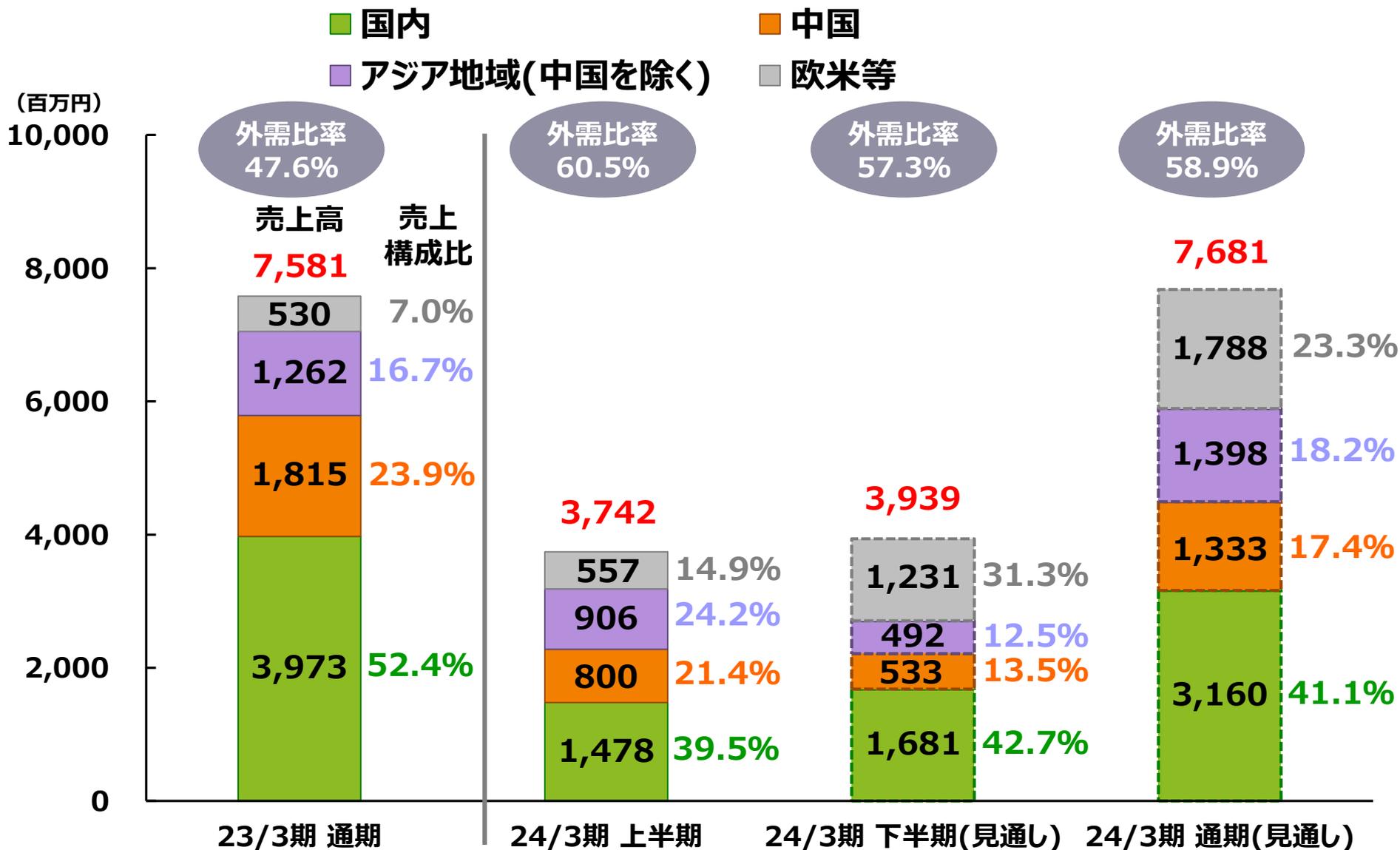
業績推移見通し（連結）



品目別売上高見通し（連結）



地域別売上高見通し（連結）（※）



※ 最終据付地ベースで集計しております。

中長期課題への取組み

【海外市場展開】

昨年設立したドイツの子会社と米国ノースカロライナ支店を基軸に、欧米地域の顧客へ積極的な営業展開を推進しております。

特に、戦略機種であるハイエンド インサート研削盤 “APX-F50” について、国内からの技術サポートなどバックアップ体制を強化したことにより、欧米ユーザーからの高い評価が定着し受注の増加に結びつきました。

2024年3月期の「欧米等の地域」向けの売上高は、過去最高額に達する見通しです。



APX-F50で加工した
複雑形状の切削工具



ハイエンド インサート研削盤 APX-F50

中長期課題への取組み

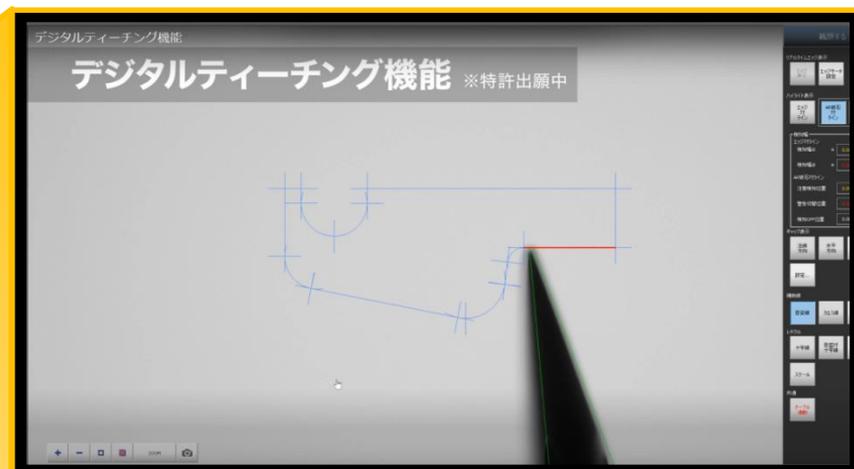
【新製品の市場展開】

2023年10月に名古屋で開催された工作機械見本市「MECT2023」に、新製品「デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV」を出展しました。

生産現場では熟練オペレーターの不足が喫緊の課題となっており、高精度加工機の操作に必要なとされる熟練の技を、デジタル技術によりサポートする当社の取組みは、会場でも高い評価をいただきました。



展示会場の様子



デジタルサポート機能の一例



本資料には、将来の業績見通し等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提に基づいて作成しております。従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知ください。

<https://www.waida.co.jp>

問い合わせ先： 経営企画室

TEL：0577-32-0390

E-mail：ir@waida.co.jp